平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ２７ ※記入不要	提案機関名	横浜川崎地域農業改良普及センター

要望問題　トマトの養液耕栽培（神園式、ハイポニカ式、れき耕）における根腐病対策

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

横浜川崎地域のトマトの養液耕栽培において、ピシウムによる根腐病対策が大きな問題となっている。対象農家数は１１戸、面積は、約 20,000 m^2 である。多くのハウスで根腐病が多発し、減収するため、経営上のダメージが大きい。要望課題としては、下記の４点である。

１．オゾン殺菌装置の効果確認と使用方法の確立
２．銀剤の効果確認と使用方法の確立
３．水温、気温等が根腐病発病に与える影響の確認及び、外部遮光の効果確認
４．その他養液管理等による防除方法があれば、その方法の確立

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：農業環境部	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等

銀剤については専技が実施中。
オゾンガス曝気による防除効果の試験を大阪府で行っています。それによると１００Ｌの培養液に１２５ｐｐｍのオゾンガスを毎分５Ｌ処理する場合、１２０秒以内に殺菌できると報告されています。また、水溶液中に十分拡散することが重要で、拡散が悪いと殺菌に時間がかかります。当研究所では、今のところ実施場所がない、装置がないなどで実施困難です。
外部遮光については、圃場レベルでの実施はできませんが、小規模で実施できれば、実施し情報提供します。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	